

## 問020019問題

次のファイル設計に関する記述および流れ図を読んで、設問1～3に答えよ。

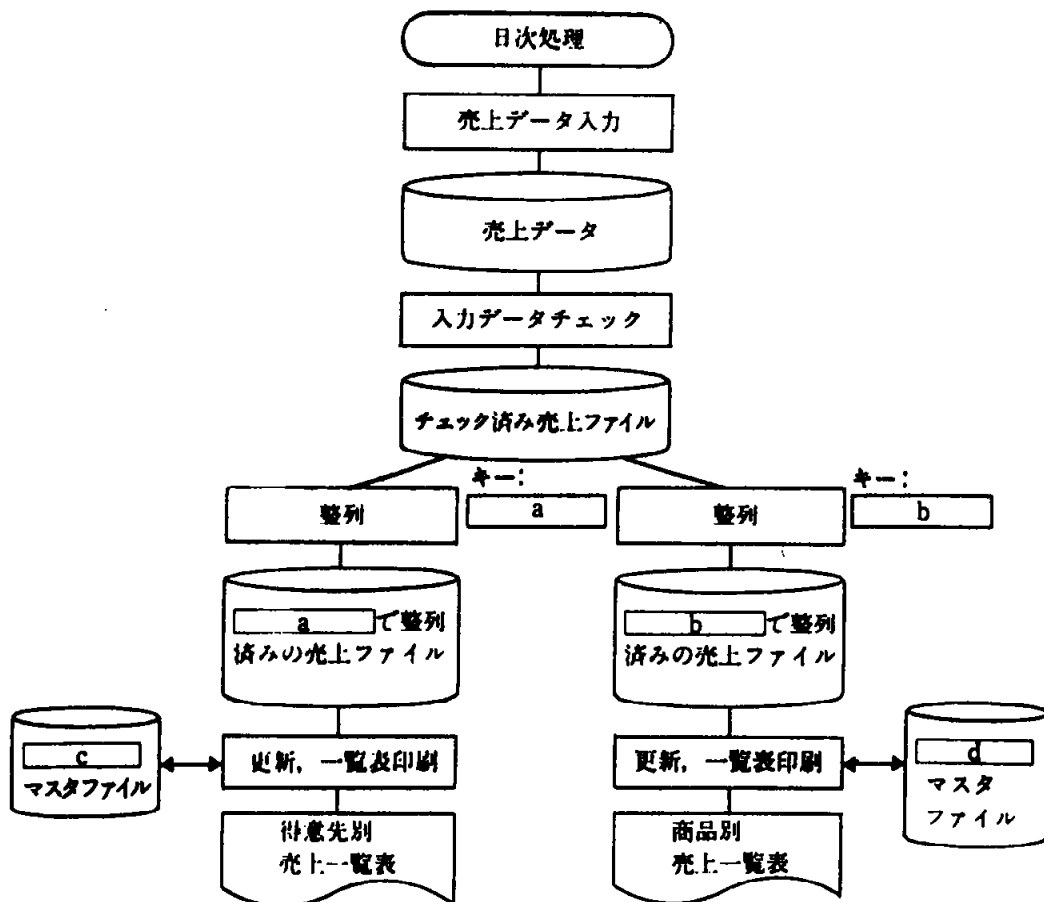
毎日発生する売上データを入力して行う販売管理業務の日次処理が、次の(1)と(2)のように分割されている。

売上データファイルのレコード形式を次に示す。

|    |      |        |       |    |        |
|----|------|--------|-------|----|--------|
| 日付 | 伝票番号 | 得意先コード | 商品コード | 数量 | その他の項目 |
|----|------|--------|-------|----|--------|

売上データファイルを使用した日次処理は、次のように行う。

- (1) 売上データによって商品マスタファイルを更新し、商品別売上一覧表を作成する。
- (2) 売上データファイルによって得意先別売掛金マスタファイルを更新し、当日、売上の発生した得意先別売上一覧表を作成する。



流れ図

**設問 1** 次の記述中の  の入れる正しい答えを解答群から選べ。

- (1) 流れ図のキーは  a と  b である。  
 (2) 流れ図のマスタファイルは  c と  d である。

a、bに関する解答群

ア 日付      イ 伝票番号      ウ 商品コード      エ 得意先コード      オ 数量

c、dに風する解答群

ア 商品名                                  イ 商品                                  ウ 得意先別売上  
 エ 得意先別売掛金                      オ 得意先名

**設問 2** 次の記述中の  の入れる正しい答えを解答群から選べ。

設問 1 の販売管理業務を商品管理業務にしぼって考えた場合、次のサブシステムに分割することができる。

- ・商品マスタファイル更新サブシステム(日次処理)
- ・月間商品別管理表出力(月次処理)……各商品の月間の入在庫数量計や月末在庫数量の表示を行う
- ・期間商品別管理表出力(期末処理)……各商品の年間の入在庫数量計や期末在庫数量の表示を行う
- ・オンラインによる在庫照会(臨時処理)

これらのサブシステムの運用は、次のように行う。

- (1) 月次処理は月末の日次処理が終了してから行う  
 (2) 期末処理は期末の月次処理が終了してから行う

これらの処理を行うための次に示す在庫マスタファイルのレコード形式のうち  e、 f はどれか。ただし、 f は売上総利益を計算するために必要な項目である。また、この会社の会計年度は 1 月～12 月である。

| 商 品<br>コード | 商品名 | 在庫量 | 当 月  |      | <input type="text"/> e |      | <input type="text"/> f | 仕入<br>単価 | 販売<br>単価 | その他<br>の項目 |
|------------|-----|-----|------|------|------------------------|------|------------------------|----------|----------|------------|
|            |     |     | 入庫量計 | 出庫量計 | 入庫量計                   | 出庫量計 |                        |          |          |            |

ア      イ      ウ      エ      オ      カ

ただし、在庫マスタレコード形式の下に示すア～カは設問 3 の解答用である。

e、fに国する解答群

ア 年初から当月末までの

イ 年初から前月末までの

ウ 当月の

エ 前月末の在庫量

オ 年初の在庫量

**設問3** 設問2の仕様のうち、期末処理で商品別の(期間)売上総利益を一覧表に表示するという変更が要求された。ただし、仕入数量は入庫数量、販売数量は出庫数量とみなすことにする。商品別の売上総利益を計算する次の式の  ~  をア~カで埋めよ。

$$\text{売上総利益} = \text{g} \times (\text{販売単価}) - (\text{h} + \text{i} - \text{j}) \times (\text{仕入単価})$$